

健常高齢者における多方位口唇閉鎖力
- その特性と体格・握力・残存歯との関連 -

山口 正人

松本歯科大学 歯科補綴学講座

Multidirectional lip-closing force in healthy elderly persons
- Characteristics of lip-closing force and its relations with physiques,
handgrip strength and dentate status-

MASATO YAMAGUCHI

Department of Removable Prosthodontics, School of Dentistry, Matsumoto Dental University

山口正人, 足立忠文, 大石めぐみ, 中塚久美子, 横井磯子, 吉成伸夫,
黒岩明弘, 増田裕次 (2011) 顎機能誌 17 : 125-34.

【目的】

本研究の目的は, 多方位口唇閉鎖力測定装置を用いて, 健常高齢者における口唇閉鎖力の特性ならびにその体格・握力・残存歯の状態との関連を検討することである。

【対象および方法】

長野県在住60歳以上の健常高齢者139名(男性62名, 女性77名, 平均年齢 69.6 ± 5.2 歳)を対象とし, 口唇閉鎖力, 身長, 体重, 握力, 歯の状態ならびに義歯装着の有無をそれぞれ記録した。口唇閉鎖力は, 最大努力での口すぼめ運動時の多方位口唇閉鎖力を測定した。口唇閉鎖力の性差の有無, 対称的方向別口唇閉鎖力間の関連さらに, 総合力と年齢, 体格, 握力ならびに残存歯数, 前歯保全の有無, アイヒナー分類による臼歯咬合支持域, 義歯装着との関連について統計学的解析を行った。

【結果】

男性の総合力は女性に比し有意に大きかった。方向別口唇閉鎖力は, 垂直方向, 斜め方向, 水平方向の順で大きかった。対称的方向別口唇閉鎖力間において, 有意な相関が男性の3方向に認められず, また大きさの対称性が, 女性の4方向に認められなかった。男性では, 身長, 体重と口唇閉鎖力との間に弱い相関が認められたのに対し, 女性では, そのような傾向は見られなかった。また男女ともに総合力と残存歯数との間に関連は見られず, アイヒナー分類別総合力の大きさにも有意差を認めなかった。男性において, 義歯装着者は未装着者に比し総合力は有意に大きかった。

【結論】

高齢者における口すぼめ時の口唇閉鎖力には, 小児, 若年成人とは異なる方向特異性が見られた。また高齢者の口唇閉鎖力は年齢, 残存歯の状態との関連は見られなかった。